

(別紙)

評価細目の第三者評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ b ・c
〈コメント〉理念の掲示について、玄関・事務室・各ユニットの目立つところに掲示するなどの工夫が求められます。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・ b ・c
〈コメント〉介護保険制度の分析は詳細に行っています。その他にも、地域福祉の視点での分析を行うなど、視野を広げていくことを期待します。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a ・b・c
〈コメント〉経営状態や改善すべき課題は、職員の声を吸い上げながら、事業推進者会議を通して職員間で共有され、理事会でも共有される仕組みが構築されています。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・ c
〈コメント〉法人の将来的な収支の見通しは、役員会用の資料として作成されていますが、計画としては作成されていません。また、中長期(3~5年)の事業計画は作成されていません。介護保険の改定と併せて、中長期計画を作成することが望まれます。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・ c
〈コメント〉中・長期計画と連動した単年度計画を作成することが望まれます。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉ユニット推進会議で職員の意見を集約し事業計画が作成されています。今後は、職員への周知方法を工夫するとともに、組織として評価に取り組むことを期待します。	
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・ ⓒ
〈コメント〉事業計画の利用者・家族への周知・理解については、積極的な取組はなされていません。事業内容を簡潔にまとめたものを掲示・配布するなどの理解を促す取組が求められます。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉毎年自己評価がなされており、苦情対応も迅速に行われています。第三者評価等の外部の評価機関の計画的な活用を期待します。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉委員会は開催されており、現場レベルでの改善の取組は見られます。福祉サービスの質の向上に向けた改善計画書を文書化して共有するなどの取組が期待されます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉施設長は自らの役割と責任を十分自覚されており、職員も認識をされています。職務分掌や災害時における権限移譲などのルールを文書化し、職員へ周知することが望まれます。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉管理者として法令順守の観点で施設運営が行われています。それに基づいて、職員へ改善を指示するなど積極的に取り組まれています。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉施設長は指導力を十分発揮されています。今後は、個々の職員からの自発的な取組や実践が生まれやすい環境づくりの構築に指導力を発揮されることを期待します。	

II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
〈コメント〉施設長は経営の改善や業務の実効性を高める取組をされていますが、職員が一丸となって取り組めるような体制づくりが期待されます。	

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・ <input checked="" type="radio"/> c
〈コメント〉法律で定められた人員基準を十分に満たしておりますが、より一層福祉サービスの質を向上させるためには、どのような専門職、人員体制が必要であるかを明確にした計画の作成が求められます。また、その計画に基づいた人材確保・定着の取組が望まれます。	
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
〈コメント〉人事基準は就業規則に明記され、周知が図られています。今後は、人事考課やキャリアパス等、総合的な人事管理の仕組みの構築が期待されます。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
〈コメント〉男性の育休取得の実績があり、福利厚生が充実している様子が見受けられます。職員の意向・希望等を聴取する場を定期的を設定することが期待されます。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
〈コメント〉職員は年度目標を作成しています。今後は、それに対して、目標の進捗・達成状況を評価する仕組みが構築されることを期待します。	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<input checked="" type="radio"/> a・b・c
〈コメント〉ユニットケア・研修企画委員会において、研修計画が作成され、研修が実施されています。今後は体系化された研修計画が作成されることを期待します。	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・ <input checked="" type="radio"/> b・c
〈コメント〉新任職員向けの研修テキストを施設独自に作成しています。外部研修の情報提供や参加奨励、上級資格の取得支援等を積極的に実施されることが望まれます。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・ <input checked="" type="radio"/> c
〈コメント〉交通の便の良い施設に比べると、実習生の受け入れが難しい面がありますが、指導にあたる職員の資質向上にも繋がる面もありますので、マニュアルを作成したうえで専門職の特性に配慮したプログラム作成等、実習受け入れにより一層積極的に取り組まれることを望みます。	

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉広報誌は発行されているものの、毎月、利用者の家族等へ施設長が作成した文書を送付しています。また、ユニットごとに写真を多用したお便りを作成しています。今後は、地域に向けた印刷物や広報誌等を配布されることを期待します。</p>	
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉法令に基づいた経営・運営がなされています。職員の周知を進め、公正且つ透明性の高い経営・運営が求められます。</p>	

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉地域の防災拠点として施設が有効に使われることを想定されています。コロナ禍にあって実施は難しいものの、利用者と地域住民との定期的な交流の機会の創出に努めることを期待します。</p>	
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・ c
<p>〈コメント〉学校の職場体験の受け入れや音楽ボランティアの実績はありますが、ボランティア等の受け入れに関する基本姿勢を定めたりマニュアルの作成やさらなる積極的な受け入れができるよう期待します。</p>	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ b ・c
<p>〈コメント〉総合相談に対応するために必要な社会資源を把握しリスト化しておくことが望まれます。</p>	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・ c
<p>〈コメント〉防災に関しては自治会と連携して進める意向を持っておられます。まだ地域のニーズを十分に把握しておらず、福祉施設が有する機能を地域に提供することができていません。</p>	
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・ c
<p>〈コメント〉施設長は、出前講座などの公益的な活動の構想を持っておられますが、実現には至っていません。まずは地域の福祉ニーズを把握する仕組みや地域福祉の視点を持った人材育成に取り組むことを期待します。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉職務テキストやコミュニケーションマニュアルによって、利用者を尊重した福祉サービスの提供について職員が共通した理解ができる取組がなされています。</p>	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉ユニット型個室によって、利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した空間となっています。今後は利用者の権利擁護に着目した視点での一層の取組を期待します。</p>	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉地域包括支援センターに施設のパンフレットが配布されていますが、一部にとどまります。積極的な情報提供の施設が望まれます。</p>	
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉法令に基づいた対応がなされています。今後は意思疎通の難しい利用者への創意工夫を求めます。</p>	
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉法令に基づいた対応がなされています。在宅復帰への支援についても今後取り組まれることを期待します。</p>	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉アンケートは実施しているものの、回答しやすい設問にするなどの工夫をすることで、回答率が向上することを期待します。</p>	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・㊦
<p>〈コメント〉苦情解決については、体制が整備され積極的に取り組まれています。苦情解決状況の公表は、苦情解決の取組の一つとして位置づけられている点を認識し、今後さらなる苦情解決の体制整備を期待します。</p>	
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉利用者や家族が気軽に意見が述べられる環境づくりをされています。意思決定支援が難しい利用者が多い施設ではありますが、だからこそ、意思決定支援の取組や、利用者が意見を述べたいときに相手を選択できるなど、さらなる取組の検討を求めます。</p>	

Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉組織的相談体制は構築されています。さらに迅速な対応が図られるよう、苦情解決実施要綱の見直しを求めます。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉事故防止対策委員会の設置、事故事例集の取りまとめ、福祉用具の活用など積極的に取り組まれています。	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉感染予防マニュアルが作成され、新型コロナウイルスの対策として外来者の検温や消毒、行動履歴の確認など基本的な項目は実施されています。職員の体調管理、行動把握もされていますが、それが来訪者へ十分に伝わっていない可能性があります。不安や憶測を生じさせることがあるので、より丁寧な説明が必要となります。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉立地条件として、河川の氾濫や地震による津波の被害が想定されにくく、比較的安全な場所に建設されています。防災訓練は定期的を実施し、大規模災害時の対応マニュアルも整備され、組織として取り組んでいます。今後は地元との連携による訓練も予定されています。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉職務テキスト、介護マニュアルが作成され、いつでも閲覧できるようになっていますので、日常的に利用されるような工夫が望まれます。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ ⓑ ・c
〈コメント〉随時見直しが行われていますが、今後は定期的な見直しを組織的に実施できるよう、仕組みが整えられることを望みます。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉多職種で連携し、利用者・家族の意向に沿った支援がされています。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ ・b・c
〈コメント〉利用者管理データにより、定期見直し時期を確認し、モニタリングは各ユニットごとで行うなど、施設ケアマネジメントの手順が適切に行われています。状態が変化した場合、随時見直しもされています。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉利用者に関する記録は適切に行われ、朝礼等で情報提供がなされています。情報の共有においては、パソコンやタブレット等を活用し、業務の効率化を図ることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ● b ● c
<p>〈コメント〉個人情報保護規則が策定されるなど、記録の管理体制は整っています。今後は職員の教育や研修に積極的に取り組まれることで、より実効性の高いものとなることを期待します。</p>		